

令和元年度第1回射水市協働のまちづくり推進会議 会議録

1 開催日時

令和元年10月29日（火）午前10時から午前11時30分

2 開催場所

射水市役所2階 201会議室

3 出席者

委員 奥 敬一会長、宮田雅人副会長、春日哲男委員、堺 勇人委員、
瀬山和子委員、高橋清美委員、町野美香委員、三浦美樹委員
（8名中、8名出席）

事務局 島崎市民生活部長、原市民生活部次長、松下地域振興・文化課長、
藤井課長補佐、橋本主任、牧野主任

4 欠席者 なし

5 議題及び会議結果

(1) 開会

島崎市民生活部長挨拶

(2) 委員の紹介

今回委嘱した委員8名を紹介した。

(3) 会長選出、副会長指名

会長に奥敬一富山大学芸術文化学部准教授を選出し、副会長に宮田雅人射水市
地域振興会連合会長を指名した。

(4) 議題

① 射水市における市民協働の取組について

射水市における市民協働の取組について、事務局から説明した。

② 提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について（平成29・30年度）

提案型市民協働事業の評価結果について、事務局から説明した。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について、事務局から説明した。

③ その他

(5) 閉会

6 会議資料

資料 1	射水市における市民協働の取組について
資料 2 - 1	平成 29 年度提案型市民協働事業評価結果
資料 2 - 2	平成 30 年度提案型市民協働事業評価結果
資料 3	公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について
参考 1	令和 2 年度射水市地域提案型市民協働事業の手引
参考 2	公募提案型・地域提案型市民協働事業 採択一覧
参考 3	射水市内 NPO 法人一覧
参考 4	射水市協働のまちづくり推進会議設置要綱
参考 5	射水市協働のまちづくり推進会議委員名簿

7 会議の経過（要点）

(1) 射水市における市民協働の取組について

【委員】

公募提案型市民協働事業のおおよその採択団体数はどれだけか。

【事務局】

27 団体であり提案団体が偏っているということはない。

【委員】

地域振興会職員応援団の今後のあり方についてであるが、制度という形にこだわると難しくなってしまうのではないか。実際に先進的に取り組んでおられる振興会があるとの説明もあったが、その振興会から行政だけでなく振興会も学んでいくことが必要だと思っている。制度や形にこだわるのではなく、学んだことをできるところから取り入れていけば、その積み重ねが成果となって表れてくるのではないか。

【委員】

制度を作ってしまうことがなじまない部分もあると思う。お話にあったとおり、連合会と協働で情報の共有を進めてもらいたい。

制度を作るのであれば、職員を縛ってしまう制度ではなく、積極的に協力している職員を評価できるような制度を考えてもらいたい。

【委員】

NPO 活動展を昨年訪れたが、パネルの展示だけでは少し寂しく感じてしまった。せっかくの事業なので例えば、SDGs と絡めた展示にするなど何か一工夫ほしい。

【委員】

射水まちづくりプラットフォームの参加者層は把握しているのか。こういった方たちが参加しているのか。また、プラットフォームの参加者がまちづくりセミナーへと移行する形になっているのか。

【事務局】

まちプラ参加者へのアンケートを実施しており把握はしている。親子参加型のプログラムは当然、親子で参加しており、その他のプログラムでは内容に興味のある様々な年齢層の方が参加している。

セミナーについてはこれからの実施であり、参加者の把握はできていない。

【委員】

プラットフォームの開催時にも PR するなどして、プラットフォームからセミナーに参加者が移行するような仕掛けを考えて欲しい。

【委員】

協働=NPO と考えがちだが、本来は企業等も含めたすべてのステークホルダーが対象になるべきである。NPO だけを切り取るのではなく、もっと全体で考える視点が必要ではないか。NPO 以外の活動が埋没してしまうのはもったいない。

現在運用している NPO ポータルサイトに NPO 以外の活動についても掲載して情報を発信していくことができるのではないか。様々な活動を発信することで機運も高まっていくと思う。

【委員】

セミナーの開催については、青年会議所や地域振興会連合会にも PR するなど情報の発信について非常に積極的に取り組んでいる。しかしながら、多くの団体が、他の団体との情報共有や交流に対して積極性に欠けている。それぞれの団体をどうつないでいくかが今後の課題と捉えている。

【委員】

SNS での情報発信などによりコミセンにも東京からの利用者が来ることがある。情報発信が非常に大事ということは実感している。

【委員】

NPO の活動展を様々な団体の活動発表と合わせたイベントとして開催することはできないか。情報の発信と共有を進めるきっかけになるのではないか。

【委員】

情報の発信や共有が大事ということは非常に感じており、青年会議所でも様々な団体が交流できるイベントを提案したいと考えている。

(2) 提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について（平成29・30年度）

【委員】

事業には期間型事業と単発型事業があると思うが、イベント開催の日時なども資料に入れてもらいたい。

【委員】

評価項目のV自立性・持続性の項目だが、採択された事業には単年度で完結する事業もある。そのような事業は現在の評価方法ではどうしても評価が低く

なってしまうため、事業を翌年度以降どのように生かしていくかという視点も含めた評価とすべきではないか。

【事務局】

提案の時点では単年度の事業であっても、その事業を契機として翌年度以降どのように生かしていくかということも確認している。評価に際しても、事業の波及効果などの視点も含めた評価ができるようにしていきたい。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

奥会長、春日委員、瀬山委員、高橋委員の4名が選任された。

【委員】

フリー型の提案について、NPOとの連携に限らずNPO等との連携に変更できないか。地域振興会連合会としてもまちづくり大学同窓会との連携を考えているところである。間口を広げてより積極的に横の連携を図っていくべきでないか。

【事務局】

事務局としてもその点については協議をした。テーマ型・フリー型の区分で募集を始めて3年目となるが、いまだにフリー型については応募がないのが現状である。今年度の応募の状況を見て、来年度以降に再検討したいと考えている。

【委員】

2年目以降の事業についても審査会で審査を行い継続するかどうかを決めるのか。

【事務局】

協働の相手方となる担当課と協議していただき、その効果を踏まえて次年度以降の継続を決定しているため、2年目以降は審査会では審査を行っていない。

(3) その他

【事務局】

今後のスケジュールについて説明。今年度は公募提案型市民協働事業審査会に合わせて採択事業の事業報告会を開催したいと思っている。詳細については調整中であるが、ご協力をお願いしたい。

【委員】

まちづくり大学同窓会はまちづくりの活動を行っている様々な団体のプラットフォームになりたいと思って活動している。まだまだの部分も多いがしっかりと活動を深めていきたい。また11月24日にはまちづくりセミナーを開催するので皆様の協力をお願いしたい。

【委員】

市の政策推進課が学生との協働ということで、学生アイデアコンテストを行っている。日程的に可能かどうか分からないが、事業報告会やまちづくりセミナーと抱き合わせで開催なども考えてもらいたい。それをきっかけとして新たな横のつながりも期待できるのではないか。

午前11時30分閉会